

さあ 来年の創立110周年に向かおう。
1人の会員が2名の参加者を連れて。



教務支庁会場

北海道
教区報

第561号

発行所

天理教北海道教務支庁

札幌市中央区南8条西11丁目

電話011(561)-1148

FAX011(561)-1190

E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp

印刷

三浦印刷株式会社



北明分教会会場



上川分教会会場



夕張大教会会場



人舞分教会会場

(7月14日の教務支庁
会場をもって「婦人会
員決起の集い」の、北
海道全日程を終了しま
した。)

6月30日 上川分教会会場

講師 尾崎八寿子先生

(婦人会員370名)

6月30日 人舞分教会会場

講師 加藤美菜子先生

(婦人会員205名)

6月30日 北明分教会会場

講師 小原 絵美先生

(婦人会員338名)

6月30日 夕張大教会会場

講師 泉 としえ先生

(婦人会員306名)

7月14日 教務支庁会場

講師 山田はる乃先生

13時～532名

18時～55名

13会場、計3、140名

山本亨子・教区主任所感

「北海道での13会場、無事に終
了させて頂きました。皆様のご
協力、丹精の賜物と、深く感謝
申し上げます。来年の婦人会百
十周年に向け、これからも活動
方針に向かって、おたすけに励
む日々を喜び勇んで邁進して参
りたいと思います。ありがとう
ございました」

〈7月2日、支部長会議での西垣教区長のお話の中より〉

「六月二十四日の三代真柱様五年祭では、中山大亮様が布恵様と前半のおてふりをつとめ、祖霊殿の儀では真柱様も御参拝。その後、会議所にて挨拶なされました。そしてまた御招宴には、真柱様・奥様・大亮様・布恵様・まさえ様のご家族五人が揃ってお出まし下さりました。参列した直属教会会長らも、真柱様の御容態を案じていた心持ちを落ち着かすことが出来ました」

基礎講座報告

基礎講座北海道会場（藤野充 普事務局長）では6月30日、稚内市にあるコミュニケーション施設「キタカラ」内にある地域交流センターにおいて、基礎講座を開催。22名が受講された。

今回の開催は宗谷支部（五十嵐仁支部長）が2年に1度、本講座を利用して、支部管内の信者や一般の方へ教への理解を深めてもらおうと布教活動に活用している。

7月7日には教務支庁（札幌市中央区）で開催。布教の家の寮生が一般の方をお誘いするなどして、4名の受講があった。

今回は9月8日教務支庁で開催。（写真は稚内会場）



《今後の開催予定》

9月8日（日）教務支庁会場
11月10日（日）教務支庁会場

基礎講座は天理教の教えをビデオとお話でわかりやすく紹介する講座です。特に講師の体験談が理解をより深めてくれます。

支部総会 各地で楽しく賑やかに

●天龍支部（松下敏孝支部長）では、5月4日に雨龍大教会を会場におつとめ総会を開催した。

第1部は支部役員で座りづとめ、少年会員でよろづよ八首、支部教友で12下りを三交代でつとめた。

第2部記念式典には、教区長

先生より御祝辞をいただき、教区婦人会より祝辞、支部長挨拶、各会活動報告と続き最後に、昨年度の活動をDVDの映像でふりかえった。

午後からは第3部「喜びの広場」と題して、会場を大広間に移し、各教会自慢の模擬店の料理を堪能し、ステージでは毎年深川市のフラダンスチームが華を添えてくれ、最後は抽選会で大いに盛り上がり、参加者全員和気藹々と有意義な一日を過ごした。（参加者130名）

●北見支部（吉岡泰雄支部長）では6月9日、華形分教会を会場に支部総会を開催、43名が参集した。

内容は、座りづとめ、てをどりや4交代でつとめ、記念講話、また、お楽しみ行事のビンゴゲームや焼き鳥などの模擬店も出て楽しいひと時を過ごした。

●上川支部（白鳥道之支部長）では6月9日、永山分教会を会場に、支部総会を開催した。

座りづとめから6交代でおつとめを勤め、総会式の後、記念講演に藤野宏成先生（東旭町分

教会長）より、数々の貴重な布教体験を基に、和やかな中にも感動のお話を頂いた。

各部連絡、記念写真の後、昼食は、野外で婦人会の世話取り、青年会員の焼くバーベキューに、参加者84名（内少年会員16名）も舌鼓を打ち解散し



た。

●小樽支部（荒川善孝支部長）では6月30日、小樽天理教館を会場に総会を開催した。

先頃、女性の国会議員が自分の秘書に暴力、暴言をふるったことがマスコミに出て大変な話題になった。国会議員は国民が安心して結構に暮らしていけるように尽力する立場の人である。この人は大変なエリートだったと云うが、何よりも自分の立場にしがみつくと欲望を優先させている。いくら頭がよくても自分を守る欲望には負けてしまふのであろう。そのために人を馬鹿にするとはとんでもないことだ。しかしこれは自分がまいた種である。刈りとりも自分がしなければならぬ。

人間は欲があるから生きられる。しかしまた欲があるために人として生きられなくなる。前者は人として正しい欲であり、後者はほこり心を積む欲である。どれだけ人類が知恵を集めて人類のために素晴らしい主義主張をつくり出しても、結局一人一人の心が正しくなければ絶対にこの世には平和は訪れないのである。正しい心とは正しい欲をもつ事である。正しい欲とは生かされている生命に感謝し、この世の摂理に添った心使いをする事である。

以前に一昔前の実話を聞いたことがある。ある漁場で働く人達の親方が足腰を痛んで苦しむようになった。そこへ天理教を信仰されている婦人が来られて、「親方は今迄、働いている人々を棒でたたいてきたからそのむくいが自分の腰の痛みにきたのでしよう。これからは通り

随想三十一

我が身うらみ

木岡 昭

返しの道として、困った人々をたすけあげる道に励まれるとよいと思います。」と云われた。婦人の勝手な悟りだが親方はその話に感銘を受け、その後は人だすけの上に寝食を惜しまず励まれ、多くの人をたすけ導かれて教会長となられたのである。親方は生命の親を知り、人生の真の目的も知って喜び、人様のために心をつくす喜びを得てこんな有難い人生はないと申されていたという。無学で地位も財産がなくても喜べる人生があったのである。

このように自分の心を磨き変えていく事はいかなる環境の中でも大切な事である。私達の信仰は人を責めたり、人のせいにしていない事である。どんなに結構な社会、国家が出来ても、自分の心が正しくできていない限り真の喜びは来ないのである。

私は今までに人に裏切られたり、またひどい仕打ちを受けた経験があるが、物心ついてからの私は相手を恨んだことは無い。すべて私に与えられた運命と悟り、また自分が至らなかつたを受けとめてきたつもりである。私の通ってきた人生は正直云って努力が足りなかつた。だから腹が立つどころか今ある事を有難く思っているところである。みかぐらうたに「なんぎするの心から わがみうらみであるほどに」とある。これが真からわかれば間違いない人生が歩める。



総会式典に続き、奥村尚人教区災救援隊長による記念講演。さらに参加者全員で「よろづよ八首」総立ちをつとめた。その後「お楽しみ広場」が開催され、模擬店を婦人会が主体となつて出店。ステージでは小樽雅楽会による演奏、支鼓舞笛隊による演奏が行われた。最後は恒例となつたお楽しみ大抽選会を開催。大盛況の内に幕を閉じた。

参加人数 151名

●富良野支部(藤本重克支部長)では、7月7日上富良野分教会を会場に総会を開催し、67名が



参加した。

新支部長の手に合わせて三殿の参拝をした後、座りづとめより始まり、よろづよ八首は例年通り少年会・学生会・青年会・女子青年でつとめ、十二下りは二交代で勤めさせ頂いた。

総会式では役員者紹介があり、直会ではパーベキューで楽しんだ。

新会長さん紹介

(令和元年6月26日お運び)

宗谷支部

沼ノ端分教会(那美岐)

奉告祭9月14日



吉川 英樹氏 (53歳)

空知支部

大夕張分教会(兵神)

奉告祭9月8日



眞鍋 顕成氏 (44歳)

「天理教学を学ぶ会」

第3回 公開講座 受講者募集

「原典」から何を学ぶか

「おやのことば」と

ともに生きる信仰

日時 令和元年8月12日(祝)

午後1時～4時

会場 教務支庁

受講費 1000円

※終了後懇親会を開きます。
別途参加費1000円

《ブロック別母親講座ご案内》

ブロック	開催日時	講師	立場	会場
A	8月29日(木)	高橋 太志	祝梅分教会長	北斗市総合文化センター かなでーる
B	8月31日(土)	松尾真理子	加古前支部長	教務支庁
C	8月30日(金)	岩井喜一郎	士別分教会長	上川分教会
D	8月31日(土)	廣岡やよい	美唄委員部長	北見市常盤住民センター
E	8月3日(土)	五十嵐 仁	男能富分教会長	北天塩分教会

「手配りひのきしんで、 教友の絆を強めよう」

7月2日、支部長会議に引き続いて教区文化広報部(加地道喜部長)では、道友社より橋本業務課長を迎えて「天理時報手配りひのきしん実務研修会」を開催し、各支部長・手配り責任者・拠点長など約50名が受講した。



現在、天理時報は10万部、約半数が2、146か所の拠点から14、104人の手配りひのきしんの方で家庭や教会に配布されています。これは単に郵便配達という活動ではなく、真柱様も「神様の親心を伝えるひのきしん、神様の御用という気持ち

ちで届けてくれます事を願っています」と仰せられています。昨今世の中全体が紙媒体から離れる中、若者は殊に活字離れが進み、知りたいものしかクリックしない有様だとか。中でも北海道は広く、雪の季節があるという悪条件の中を、76か所の拠点から毎回1、500部を手配りし、手配り率31、7%と健闘している。遠く離れている信者さんの丹精に、また丹精の命綱こそが天理時報と考えると、「よふほく家庭に、もれなく時報を」を実現しましょう、との話があった。

その後、北海道ならではの厳冬の手配りの難しさ、読者との接点についての質疑応答があつて、教友の絆を深めるこの手配り活動を一層進めようと確認して、散会した。

新任社友研修会

また、昼食を挟んで午後2時よりこの度委嘱された新社友に対して研修会が催され、新社友6名を含む8名が受講した。橋本課長から、社友からの地域情報为天理時報紙面づくりに役立つことなど期待された。

けいごばん

◎金銭に関わる諸問題でご相談

の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部)までご連絡下さい。

◎手話・点字講習会

毎月1日、教務支庁にて午後6時から8時まで行います。

※雅楽練習会も併行して開催しています。(二布連)

◎毎月26日に本部月次祭遙拝式をおこなっております。

計報

・松浦カツ工様 7月16日出直(86歳)
札幌分教会前会長夫人(十勝支部)

北海道教務支庁日誌抄

(6月19日～7月18日)

6月26日 本部月次祭遙拝式

29日 道の教職員の集い例会
札幌四支部合同
陽気ぐらし講座

7月1日 たすけ推進会議

2日 支部長会議

時報手配りひのきしん
実務研修会

新任支部社友研修会

4日 任命願書発送

7日 基礎講座 教区会場
講師 奥村尚人先生
受講 4名

8日 事情願書発送

14日 婦人会決起の集い

18日 教区報編集会議

累計 8672名